

2023年2月24日

熊本県知事 蒲島郁夫様

代表連絡先（賛同団体は末尾掲載）

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

tel:090-2505-3880 fax:0968-72-5604

「新たな流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」に  
関する申し入れと質問

貴職は昨年12月25日、人吉市で「新たな流水型ダムの事業の方向性・進捗を確認する仕組み」（以下仕組み）の第1回会議を開催しました。この会議では、田嶋徹副知事、市町村長、漁業や自然保護、観光など5分野の団体代表、河川工学と環境の有識者、市町村から推薦を受けた流域住民12人が出席したと報道されています。会議では、参加した流域住民が一人ずつ意見を述べました。ダムに賛成する意見もありましたが、注目すべきはダム以外の個別具体的な要望が多数出されたことです。仮に建設されたとしても何年後に完成するか分からないダムに対する要望に比べて、住民の真の要望はダム以外の治水対策案にあることは明らかです。

しかし、国土交通省や熊本県はこれらのダム以外の要望に関して真摯に答えることはありませんでした。自ら住民に出席を要請しておきながら、その住民が出した意見をまともに取り合おうとしないなど失礼の極みです。

またこの会議は、出席を希望する住民や住民が推薦する学者・研究者が出席することが出来ないなど運営面での問題もあります。そこで下記の通り、貴職に対し、申し入れ及び質問いたします。3月3日までに文書にて回答をお願いします。

記

1. 仕組みの第1回会議で出されたダム建設以外の住民の要望（森林の保全、支流災害対策、土砂撤去など）を早く行うこと。
2. 仕組みの第2回会議以降は、出席する住民は行政側の推薦制ではなく公募し、希望する住民は誰でも参加できるようにすること。
3. 仕組みの第2回会議以降は、出席する学者・研究者の半分は住民の推薦とすること。
4. 仕組みの第1回会議での小松利光九州大学名誉教授の流水型ダムに関する、下記発言については、どのように対応しようとしているのか。
  - ① 魚が遡上する時、減勢工が邪魔になる件
  - ② 本当に魚が遡上するのか
  - ③ 普段は水が溜まっていないので景観が悪い

以上

## 賛同団体一覧

7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 共同代表 鳥飼 香代子 市花 保  
坂本町被災者・支援者の会 代表 本田 進  
ダムによらない復旧・復興を求める人吉・球磨の会 代表 林 通親  
清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部 明廣  
美しい球磨川を守る市民の会 代表 出水 晃  
瀬戸石ダムを撤去する会 共同代表 出水 晃 上村 雄一 本田 進